

当社社長の「2010年 新年挨拶」について

本1月4日、当社社長の松下功夫は、2010年を迎えるにあたり、社員に対して新年の挨拶を行いました。要旨は次のとおりです。

1. 本年は新日本石油との経営統合がいよいよ実現する、新日鉱グループ百有余年の歴史の中で、最大ともいうべき節目の年である。
2. 本年4月に統合持株会社「JXホールディングス」、7月に中核事業会社である「JX日鉱日石エネルギー」、「JX日鉱日石開発」および「JX日鉱日石金属」が発足し、世界有数の「総合エネルギー・資源・素材企業グループ」が誕生する。
3. わが国石油業界は極めて深刻な危機的状况にあるが、事業構造の変化に先手を打ち、単独ではなし得ない劇的な事業変革を実現し、いかなる経営環境下でも勝ち残れるよう圧倒的な競争力を確保しなければならない。
4. JXグループが目標に掲げるシナジー効果(統合後3年以内に600億円、5年以内に1,000億円)の実現は、「ベストプラクティス」を合言葉に、過去に捉われず最善の選択を重ねていけば十分達成可能である。
5. 統合まで秒読み段階に入り、現在詰めの作業を精力的に行っているが、新会社設立と同時に「ロケットスタート」が切れるよう、抜かりなく諸準備を整えて欲しい。
6. 本年度は、ジャパンエナジーとして最後の事業年度となる。収益改善を図るべく、あらゆる工夫・努力をお願いする。

以上